

## 大規模な発電施設の建設等に規制を 根室市議会6月定例月議会 一般質問

6月20日、根室市議会6月定例月議会にて、橋本竜一と鈴木一彦が再生可能エネルギー問題など市政課題を一般質問しました。その内容について要約してご紹介いたします。

### 【橋本 竜一】 一般質問

**保健事業と介護予防の一体的実施**  
(質問)後期高齢者医療広域連合と市町村が協力し、高齢者の健康維持・フレイル予防に努める新しい制度の実施が求められている。

(市長)高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組みについて、医療専門職の配置やデータを活用した分析など課題を整理し、来年度の事業実施に向けて取り組む。

### 訪問入浴サービスについて

(質問)今年度から実施した新たな事業者が6月末で終了になる。要介護者や障害者が在宅生活を維持するために欠かせないサービスであり、市として今後の対策を伺う。

(市長)当該事業所の職員の離職によりサービス継続が難しくなった。訪問入浴サービスは重要であり、一日も早い再開に向けて取り組む。

(質問)訪問入浴の維持に向けて市がこれまで検討してきた内容について伺う。

(市民生活部長)以前のようなデイサービス施設を利用した「通所型入浴サービス」等も検討したが、デイサービスの他の利用者に影響があるなど実現が難しい。現在は市外の事業者が声掛けを行っているが、今のところ目処がたっていない。

**看護職等の人材確保に向けて**  
(質問)看護職への奨励金制度について、介護事業所と医療機関で差が生じている。また児童保育施設等や障がい福祉施設の職員への対応をどうするか？

(市長)市内の人材確保の状況を見据え各協議会や事業者と意見交換を行い、より良い制度となるよう努める。

### 教員確保等で国に求めること

(教育長)質の高い教員が効果的な教育活動を行うことが重要。教員が子どもたちと向き合う時間を確保するための施策積極的に講じる必要がある。具体的には、定数の改善や学級編成基準の緩和、給特法の見直しによる、スクールカウンセラー等の専門家や地域人材の拡充などが必要で、引き続き国に要望していく。

### 市内の小・中学校等の働き方改革の成果は？

(教育長)教員の時間外在校等時間について、着実な推進が図られたが、一方で約半数の教職員が年間を通じた目標を実現できていない。引き続き業務の平準化など時間外勤務の縮減に取り組む。

(再質問)スクールサポータースタッフが7月末で任用終了になるが、その後の市教委の対応は？

(教育部長)7月で終了となる5名のうち2名は特別支援教育支援員として同じ学校で勤務。残る3名も働く環境の確保・継続が出来るよう努める。

(再質問)市独自に配置することなどさらなる対応が必要では？

(教育部長)教員の負担軽減を図るために(何の職種を配置することが有効なのか)、その優先度を各学校と協議しながら外部人材の活用を検討し、また国道に対して強く要望していく。

### 【鈴木 一彦】 一般質問

#### ふるさと納税制度の課題は

(質問)ふるさと納税について自治体間の格差が拡大し、高所得者に有利な仕組みであることや大都市圏が返礼品競争に参入など課題があるが、最近の情勢に対する認識と根室市の取り組みを伺う。

(市長)様々な意見はあるが、都市と地方の格差で地方に届かなかった税が、一部でも地方に届くようになった意義は大きい。地方の分化や食を通じて生産者に光があたる貴重な制度でもあり、制度の健全な発展に努めていきたい。

#### 大規模な発電施設等に規制が必要では

(質問)ゼロカーボンシティ推進に再生可能エネルギーは欠かせないが、根室の自然や景観は未来に引き継ぐべき財産であり失ってはならない。

(市長)これまでの議会議論や市民団体からの要望をこまめ、太陽光発電施設の建設に関する指導要領の策定と風力発電施設の建設に関する指導要領の改訂を6月中に実施する予定。

市民などが再生可能エネルギーを導入する際の支援について

(質問)市民などが小型の太陽パネル等を設置することに市が支援を行うことで、再生可能エネルギーへの理解が深まり、ゼロカーボンシティの推進につながる。

(市長)市民と企業が取り組む活動や施策への理解と協力が不可欠で、後押しする支援制度の創設は重要。今年度から策定作業を進める「地球温暖化対策推進実行計画(区域施策編)」の中で検討する。

#### 市のエネルギービジョンの見直しを

(質問)市の再生可能エネルギーに対する基本的な考え方を示す「根室市エネルギービジョン」は、「太陽光を中心とした再生可能エネルギー発電所を誘致する」としている。策定当初と現在では情勢が大きく異なっており、見直す必要があるのではないか。

(水産経済部長)地球温暖化対策推進実行計画と一体の事業推進になるため、その策定作業の中で、エネルギービジョンの見直しについて整理できるのかどうか含め、検討したい。



## 人口減少と高齢化のなか市内の 福祉団体なども活動が大変に...

5月30日に、根室身体障害者福祉協会の「令和5年度 定期総会」が根室市福祉会館で開催され、会員9名が参加されました。

コロナ禍で近年は年間に予定していた活動が思うように取り組めない状況でしたが、新年度は療育旅行などの諸行事への取り組みを進めて行く方針が確認されました。総会に合わせ根室警察署の方が「特殊詐欺」について注意喚起の講話を行って頂きました。また根室市からの派遣で手話通訳の方も来て下さいました。

ところで根室身体障害者福祉協会は歴史ある団体で過去には100名を超える会員さんが在籍していたのですが、やはり近年は高齢で亡くなる方など、現在の会員数は24名と大幅に減少しています。

活動の活性化のためには新規会員の加入促進が大きな課題ですが、個人情報保護の問題等もあり、新しい方々へのアプローチが大変難しい状況が続いていると聞きます。

このままの状況が続けば、将来的に活動を維持継続させていくことが大変に難しくなっていくかもしれません。市内の他の福祉団体やボランティア団体も同様の課題を抱えているのではないのでしょうか？

人口減少が加速化する中、市民が主役となった協働のまちづくりをどうすすめるのか大きな課題です。

北海道や根室市行政、また他の福祉等の団体とも連携しながら、新たな取り組みを模索していかねばならないと思われました。